

質問件名 子どもの育ちと働く女性を地域で応援しよう

【質問要旨】

出産しても仕事を続ける女性が増え、小平市では開発による転入増の要因も加わり認可保育園の入園希望者が増えています。市では私立認可保育園の新設を積極的に行い、来年度は6月7月開設予定の園も含めて全部で26という数になり、急激な変化を遂げています。待機児解消施策としての認可保育園増設は評価していますが、今後も開発による転入は続き、保育ニーズが大幅に増えることが予想される地域もあります。

国会では「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が成立しましたが具体策に乏しく、共働き世帯やひとり親世帯、出産後の再就職を希望する女性を、子どもの育ちとともにどう応援していくかは地域に問われています。「子どもは社会で育てる」という観点で、子どもの育ちの場として保育施設の質を担保していくことは、市の大切な役割であると捉え、以下の通り質問します。

- ① 延長保育の場合は、長時間保育の保育計画が必要と考える。午後7時以降までの保育を行っている認可保育園は市立・私立あわせて何か所あり、そのうち長時間保育の保育計画を立てている保育園はいくつあるか。
- ② 給食について、市立保育園では食の安全に配慮した「給食用物資規格基準書」に沿って食材調達が行われているが、私立認可保育園ではどうか。また、私立認可保育園でのアレルギー対応は怎么样了。
- ③ 園庭での遊びや散歩など、子どもたちは屋外で体を使って十分に遊んでいるか。
- ④ 妊娠や育児休業中での、お母さんお父さんの地域での仲間づくりを市としてどう支援しているか。
- ⑤ 保育者と保護者がコミュニケーションをとる工夫を各園ではどのように行っているか。
- ⑥ 今後の保育施策のために、マタニティ・ハラスメントや雇用形態、勤務時間など女性の立場からの職場状況について、調査が必要ではないか。
- ⑦ 地域ごとに保育ニーズ推計を出し認可保育園の必要数を割り出して、設置のための短・中期計画が必要ではないか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2015年11月19日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 日向 美砂子
受付番号【 】

26	25	24	23